



2019年7月29日

各位

会社名 株式会社 SCREEN ホールディングス
代表者名 取締役社長 廣江 敏朗
(コード番号 7735 東証 第1部)
問合せ先 執行役員 経理・財務室長 宮川 明彦
TEL (075) 414 - 7155

2020年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2019年5月8日に公表いたしました2020年3月期第2四半期(累計)および通期の連結業績予想数値について、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 147,000	百万円 4,000	百万円 3,000	百万円 2,500	円 銭 53.58
今回発表実績値(B)	145,000	0	△500	△500	△10.72
増減額(B-A)	△2,000	△4,000	△3,500	△3,000	—
増減率(%)	△1.4	—	—	—	—
前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	170,081	15,188	15,306	9,585	205.46

2. 2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 327,000	百万円 26,500	百万円 24,000	百万円 18,000	円 銭 385.79
今回発表予想(B)	324,000	25,000	22,500	17,000	364.33
増減額(B-A)	△3,000	△1,500	△1,500	△1,000	—
増減率(%)	△0.9	△5.7	△6.3	△5.6	—
前期実績 (2019年3月期)	364,234	29,645	29,279	18,059	387.10

3. 修正の理由

今後の業績見通しにつきましては、主力の半導体製造装置事業では前回予想並みの売上を見込むものの、世界景気の先行き不透明感から、グラフィックーツ機器事業を中心に売上の下振れが想定されます。また、利益面につきましては、ディスプレイ製造装置および成膜装置事業において変動費率の上昇が見込まれることに加え、前述の売上減少や円高傾向の為替影響などから、利益の減少を見込んでおります。

以上の結果、2020年3月期第2四半期(累計)および通期の連結業績予想につきましては、売上、利益ともに前回予想を下回る見込みとなりました。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上